

全高長の教育課程研究協議会を開催しました。

9月26日(月)、ホテル東京ガーデンパレス(東京都文京区湯島1-7-5)を会場として、**全国高等学校長協会(全高長)**の**教育課程研究協議会**を開催しました。全国各都道府県1名ずつの代表校長先生が一堂に会しての協議会です。私は全高長**教育課程研究委員**長として、茨城県委員11名・全高長事務局4名とともに、この会を企画・運営しました。全国調査作成・実施・回収・分析・執筆、プレ大会実施等を含めると、本日の会の準備に**約4ヶ月**を要しました。今年度の研究協議主題と3つの柱立ては以下の通りです。

研究協議主題 「次期学習指導要領改訂に向けた教育課程の研究」

研究協議主題に添った3つの柱立て

- ① 学習・指導方法の改善としての「**アクティブ・ラーニング**」の取組と課題
- ② **探究的な学習活動**を重視する「**総合的な学習の時間**」の取組と課題
- ③ 選挙権年齢引き下げに伴う「**主権者教育**」の取組と課題

当日の日程は、以下の通りでした。私のプレゼンテーションは、**60分間**でした。

10:00 ~ 10:15	挨拶 会長 宮本 久也(東京都立 西 高等学校)
	挨拶 委員長 中島 博司(茨城県立並木中等教育学校)
10:15 ~ 11:15	基調報告 委員長 中島 博司(茨城県立並木中等教育学校)
11:20 ~ 12:30	講演会 演題 「明日から使える アクティブ・ラーニング 指導法」 講師 (株)アクティブラーニング代表取締役社長 羽根拓也 氏
12:30 ~ 13:10	〈 昼 食 〉
13:10 ~ 14:40	分散会 (7分散会で協議) ※6~7名のグループワーク
14:40 ~ 14:55	〈 休 憩 〉
14:55 ~ 15:50	全体会 (分散会報告+研究協議) ※ミニホワイトボード使用
15:50 ~ 16:00	諸連絡・閉会

講演会は、**日本のALのパイオニア羽根拓也氏**に私が依頼しました(羽根氏の紹介は**第93号**参照)。全国の校長先生方も「**羽根ワールド**」に魅了されていました(^_^)v。また、分散会・全体会は、**AL型**で実施しました。上のテーマに関する「**今後の課題と、その対応策**」について**ミニホワイトボード**を作成していただき、全体会ではそれを使って報告していただきました。皆様のご協力により有意義な会を実施することができました。



◆次号(第105号)では、私が**基調報告**で使用した**スライド31枚**を掲載します。